

国への提案・要望活動について

- ・国への提案・要望活動について : 資料 4-1
- ・「平成 29 年度 静岡県への提案・要望」(抜粋) : 資料 4-2

資料 4-1 国への提案・要望活動について

1. 平成 28 年度静岡県 の提案・要望について（興津地区に関する要望・相談）

○国への提案・要望

平成 27 年 11 月 16 日（月） 本省へ

当 方：交通基盤部長、部長代理、関係局長、政策監他

○国への提案・要望を国会議員に説明

平成 27 年 12 月 2 日（水） 国会議員会館にて

相手先：本県国会議員

当 方：川勝知事 他

2. 平成 29 年度静岡県 の提案・要望について（興津地区に関する要望・相談）

○静岡県・中部地方整備局事業調整会議

平成 28 年 6 月 9 日（木） 静岡県庁にて

相手先：中部地方整備局企画部長、河川部長、道路部長他、各直轄事務所長等

当 方：交通基盤部長、部長代理、理事他、関係局長、政策監

○国への提案・要望を国会議員に説明

平成 28 年 7 月 14 日（木） 国会議員会館にて

相手先：本県国会議員 17 名（うち、議員面会 7 名）

当 方：吉林副知事、知事戦略課長他

○国への提案・要望

平成 28 年 8 月 1 日（月） 本省へ

当 方：交通基盤部長、部長代理、関係局長、政策監他

○国への提案・要望

平成 28 年 11 月 15 日（火） 本省へ

当 方：交通基盤部長、関係局長、政策監他

○国への提案・要望を国会議員に説明

平成 28 年 11 月 15 日（火）、16 日（水） 国会議員会館にて

相手先：本県国会議員

当 方：川勝知事 他

3. 関係各機関による要望について

○J R 東海（株）

平成 28 年 9 月 20 日（火）

相手先：中部運輸局鉄道部 技術課長、専門官

当 方：担当課長ほか

○J R 貨物（株）

平成 28 年 9 月 30 日（金） 中部運輸局にて

相手先：中部運輸局 局長、次長、鉄道部長、鉄道部管理課長

当 方：取締役、グループリーダー



調整会議の各機関・部局で、引き続き国へ要望を実施していく

国家的見地から取組が必要な施策の例

興津地区の防災・減災対策の実施

静岡市清水区興津地区には、JR東海道本線、国道1号といった**日本の重要交通網が集中**しており、斜面崩壊が発生しこれらが寸断した場合、日本全体の経済に影響する。このため、国家的見地から早期に防災・減災対策が必要である。

- ・H26年10月の台風18号で斜面崩壊が発生
- ・JR東海道本線が上下線で**10日間不通**、国道1号も**4日間規制**となった
- ・県民の往来だけでなく、全国的な物流に大きな影響（JR貨物では約20%の代替え輸送しか確保できなかった）
- ・国土交通省物流小委員会（H27.6.19）等において不通時の対策を検討（**全ての代替え輸送は困難**）



（参考資料）

【主な提案・要望事項】
社会資本整備の推進 - 社会資本の計画的な整備に必要な財源の確保と社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の拡充 - 自然災害に強い社会資本（道路・河川・港湾・都市施設など）の整備推進 - 首都圏空港の補完機能を果たす富士山静岡空港の機能強化に寄与する新幹線新駅設置の検討 - 世界文化遺産「富士山」の構成資産「三保松原」にふさわしい景観改善に向けた取組の推進 - 地域の活力や生活の潤いを生む都市機能と生活基盤の充実 - 予防的な修繕や計画的な更新などが着実に実施できるよう、十分な老朽化対策予算の確保 - 静岡県国土強靱化地域計画による国土強靱化の推進
高規格幹線道路網等の整備推進 - 新東名高速道路の整備推進と機能強化 ・スマート IC の整備促進 - 中部横断自動車道、伊豆縦貫自動車道、三遠南信自動車道の整備推進 - 地域高規格道路（静岡東西道路：国道 1 号静岡バイパス 清水立体等、金谷御前崎連絡道路：国道 473 号金谷相良道路Ⅱ）の整備推進
地方における道路整備の推進 - 主要幹線道路や県民生活に直結した道路の整備、耐震対策など、国・地方が真に必要な道路整備を着実に実施できるよう、十分な道路予算の確保・充実 - 地方における道路施設のメンテナンスを着実に行いつつ、真に必要な道路整備が併せて進むよう、社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金予算の拡大、必要な予算の確保 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を成功に導くために必要な道路整備に対する予算の拡充
治水関係事業の推進 - 床上浸水被害など深刻な被害を軽減するための根幹的風水害対策の推進 - 局地的豪雨等に備えたハード・ソフト対策が一体となった土砂災害対策の推進 - 長期的かつ広域的視点に立った総合的な土砂管理に基づく海岸保全対策の推進 - 短期的・長期的双方の視点に立った防災と景観を両立した施設整備の推進 - 被害最小化に向けた防災情報の高度化や基盤整備などの避難支援対策の推進
港湾関係事業の推進 - 清水港新興津地区における小型船だまり及び人工海浜・緑地の整備推進、田子の浦港国際物流ターミナル整備及び御前崎港防波堤（東）の整備、下田港防波堤の整備の推進 - 既存岸壁の効果的な老朽化対策や清水港及び御前崎港における防波堤の粘り強い構造化 - クルーズ船の寄港増や大型化に対応した魅力ある交流空間の形成、旅客の円滑な受入れのための環境整備等ハード・ソフト両面での取組への支援 - 地震・津波対策を推進する十分な予算の確保
都市局関係事業の推進 - 街路事業、連続立体交差事業、土地区画整理事業の推進 - ラグビーワールドカップ 2019 に向けた小笠山総合運動公園エコパスタジアムの設備更新 - 狩野川流域下水道事業（東部処理区・西部処理区）の事業の推進
鉄道施設への支援等 - 耐震対策事業の補助対象の拡充、災害復旧事業の補助率引き上げや対象事業の充実等 - 交通系 IC カードを活用した鉄道の利便性の向上に向けた支援の拡大や補助制度の充実 - 車両検査費用に係る予算の確保と地域鉄道事業者への補助条件の緩和

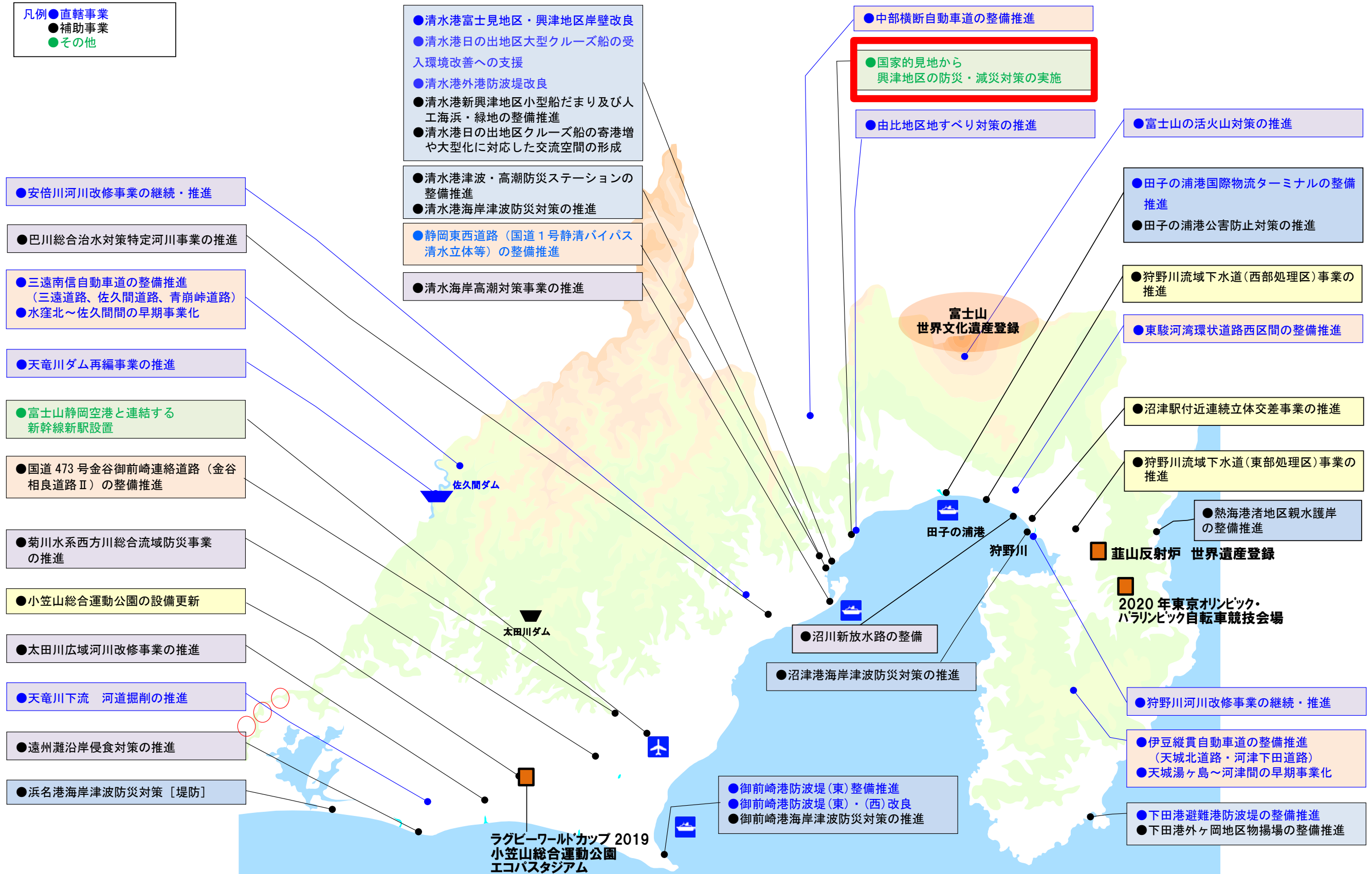
平成29年度 静岡県の要望



平成28年 11 月
静 岡 県 交 通 基 盤 部

富国有徳の理想郷“ふじのくに”のグランドデザインの実現 平成29年度 主要要望事業

凡例 ●直轄事業
●補助事業
●その他



国土交通省

(抜粋)

下線部は事務局加筆

平成 29 年度

静岡県 の 要望 ・ 提案



平成 28 年 11 月

 静 岡 県

目 次

1 「命」を守る危機管理体制の充実

(1) 「命」を守る危機管理

1	<u>美しく、強く、しなやかな“ふじのくに”づくり計画（静岡県国土強靱化地域計画）による国土強靱化の推進</u>	1
2	「内陸のフロンティア」を拓く取組（災害に強い地域づくりの推進）	3
3	南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた地震・津波対策の推進	4
4	富士山火山防災対策の強化	8
5	国の具体計画に基づく大規模な広域防災拠点の機能向上等に対する支援の拡充	9
6	治水関係事業の推進	10
7	港湾津波対策事業の推進	12
8	建築物等の耐震対策の強化	14
9	地域鉄道の鉄道施設の耐震対策及び災害復旧制度への支援	16

2 徳のある人材の育成

(1) 「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり

10	富士山の後世への継承	18
11	2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技本県開催に関する支援	19
12	ラグビーワールドカップ2019の開催に対する支援	20

3 豊かさの実現

(1) 「和」を尊重する暮らしの形成

13	エネルギー政策の推進	21
----	------------	----

4 自立の実現

(1) ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり

14	社会資本整備の推進	22
15	高規格幹線道路網等の整備推進と利活用	25
16	社会資本の戦略的な維持管理手法の確立	27
17	地方における道路整備の推進	28
18	港湾関係事業の推進	30
19	鉄道交通の安全対策への支援【新規】	32
20	鉄道施設の利便性の確保	33

1 美しく、強く、しなやかな“ふじのくに”づくり計画（静岡県国土強靱化地域計画）による国土強靱化の推進

【現 状】

- ・ 国は、東日本大震災から得られた教訓を踏まえ、必要な事前防災及び減災その他の迅速な復旧復興に資する施策を総合的かつ計画的に実施するため、平成 25 年 12 月、「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を公布・施行し、平成 26 年 6 月に国土強靱化基本計画を策定しました。
- ・ 本県は、日本の中心部に位置し、東海道新幹線や東名高速道路等をはじめ、日本の基幹的な東西交通ネットワークが集中しており、大規模地震等によりこれらが遮断された場合、日本経済に壊滅的な打撃を与えることとなります。本県を強靱化することは、日本全体の経済活動や首都機能の維持など国土強靱化の重要な役割を果たすものであります。
- ・ このため、平成 27 年 4 月、国土強靱化基本法に基づく静岡県国土強靱化地域計画として、「美しく、強く、しなやかな“ふじのくに”づくり計画」を策定し、従来の「防災」の範囲を超えて、国土政策・産業政策も含めた総合的な対応を進めているところです。

【課 題】

- ・ 本県が取り組んでいる「内陸のフロンティア」を拓く取組により、沿岸・都市部の再生、内陸・高台部の革新、多層的な地域連携軸の形成を進め、事前復興の視点を取り入れた安全・安心で魅力ある地域づくりを推進する必要があります。
- ・ 大型化する台風や激しさを増す豪雨による水害や土砂災害等に対応するため、これまで以上に対策を行う必要があります。平成 26 年 10 月の台風 18 号による静岡市清水区興津地区の斜面崩壊で東海道本線が 10 日間不通、国道 1 号も 4 日間規制され、県民の往来のみならず、物流等を含め社会的にも大きな影響がありました。本地区は国土の大動脈となる国道 1 号、東海道本線といった東西の重要交通網が集中していることから、大規模災害時に途絶すれば復旧復興に大きな支障となる

【提案先】 内閣府・農林水産省・国土交通省

【県担当課】 危機政策課

ばかりでなく、国の社会経済にも悪影響が懸念されることから、国家的見地から早期に防災・減災対策が必要です。

- ・ 地震・津波対策においては、あらゆる可能性を考慮した最大クラスのレベル2の地震・津波も視野に入れながら、「森の防潮堤づくり」や人工盛土による津波避難マウンド「命山」など、自然との共生や環境との調和に配慮したハード対策を推進するとともに、住民の防災意識の向上、ハザードマップの周知、実践的な防災訓練などのソフト対策を実施し、より効果的にハード対策とソフト対策を組み合わせることが必要です。
- ・ 南海トラフ巨大地震等の超広域災害に備え、自主防災組織と学校、事業所などの連携・協働、地域防災の担い手となる人材の育成・活用など、地域防災力の強化、民間との連携を、更に進める必要があります。
- ・ 行政、情報通信、エネルギー等の分野においては、システム等が一旦途絶えると、その影響は甚大であり、バックアップ施設やシステムの整備等により、代替性・多重性を確保する必要があります。
- ・ 大規模災害時に基幹的交通インフラが機能停止し復旧までに相当な期間を要する事態が予想されるため、救助・救急活動や支援物資の輸送等の機能を担う「命の道」となる高規格幹線道路の未整備区間の整備の促進、緊急輸送路等の整備・耐震対策及びその周辺対策（治水・治山・海岸・砂防等の対策）を推進するとともに、陸・海・空の輸送モードで結ぶため、耐震強化岸壁の機能向上や富士山静岡空港と直結する新幹線新駅の実現を図る必要があります。

【提案内容】

- ・ 基本計画等に基づく、道路・河川・砂防・治山・海岸事業等の防災・減災対策や、住宅・建築物等の耐震化対策の重点的、計画的な実施など、強靱な国土づくりに向けた取組を円滑に進めるための財政支援等の措置
【提案先】内閣府・農林水産省・国土交通省
- ・ 国家的見地から興津地区の防災・減災対策の実施
【提案先】内閣府・農林水産省・国土交通省
- ・ 基幹的交通ネットワークの機能確保、代替性確保及び輸送モード相互の連携を推進【提案先】国土交通省

【提案先】内閣府・農林水産省・国土交通省

【県担当課】危機政策課